



法華宗  
陣門流

靈妙寺



## 令和8年（西暦2026年）年中行事のご案内

ゆく秋に寂しさを覚える今日このごろ、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より當山の護持発展にご協力を賜り心より篤く感謝申し上げます。

さて、少し早い時期となりますが、来年令和8年（西暦2026年）の年中行事のご案内をお送り致します。

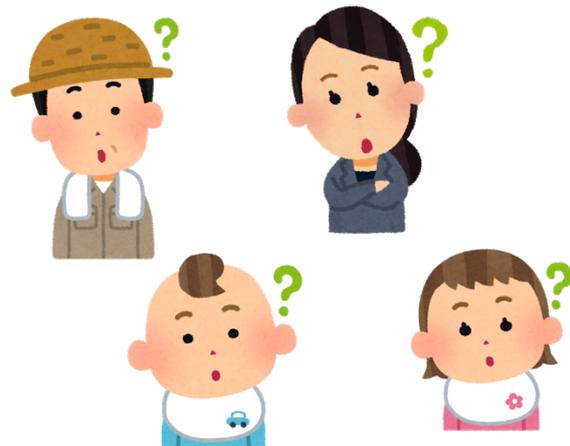
お菓子が飛び交う豆まきや、誕生仏に甘茶をかけて金運・学業運を祈念する花まつり。ご先祖様・大切な亡き人へのご供養を行い家族の繁栄・健康を祈願するお盆や春秋のお彼岸など、沢山の行事がございます。お子様、お孫さん方と一緒にぜひご参詣下さい。

### ◆◆◆ 年中行事ってどんなことをするの?? ◆◆◆

Q 誰でも参加できるの?

A はい。どなたでもご参加いただけます。

靈妙寺に御縁のある檀信徒の皆さま（靈妙寺でご先祖様をご供養している方は皆さま檀信徒様とお呼びします）、も靈妙寺で供養はしていないけれどお参りしたいという方々も、どなたでもご参加頂けます。



Q どんなことをしているの?

A その月ごとに名目は異なりますが、ご先祖様をご供養するご法要が営まれます。

また法要の前には写経や写仏、法話などお寺ならではの行事に参加することができます。

もちろんご法要のみの参加なども歓迎しております。

近隣の檀家さん同士の繋がりもできますので、地域の交流の場としてご参加頂くのも楽しみの一つです。

タイムスケジュール例 午後12時30分頃～ 写経・写仏などお好きな作業に取り組むことができます。

午後1時20分頃～ 法話

午後2時～ 法要

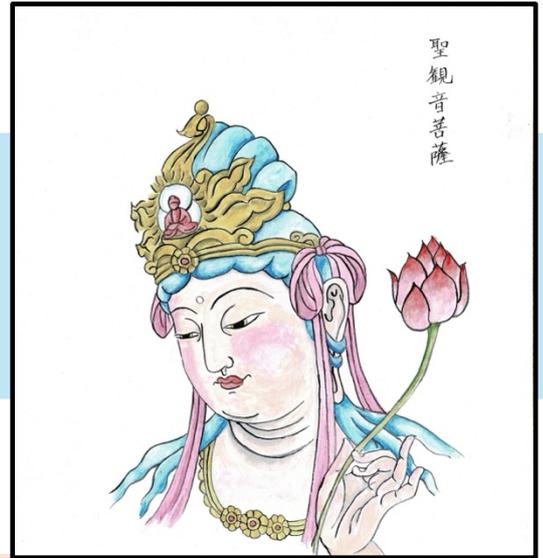
Q 参加費用はかかるの?

A 参加費用はかかりません。

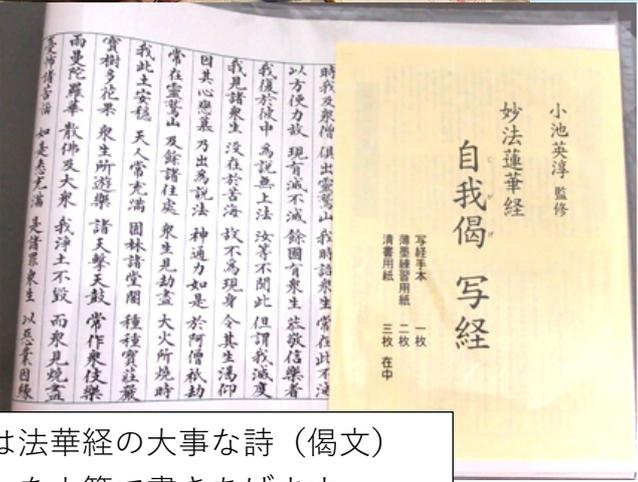
写経も写仏も法話も法要も、参加費用のお願いはしていません。

お心付けを頂戴できるようでしたらご法要の際、御宝前（お焼香のテーブル）にお供えください。

集中すると描いていくと  
時間が経つのも忘れてしまうほど



「写仏」「仏画」は  
一枚の色紙に仕上がります



「写経」は法華経の大事な詩（偈文）  
「自我偈」を小筆で書きあげます

**1月1日では  
なくなりましたので、  
ご注意下さい。**

### ◆ 1月4日（第1日曜日）午後1時 年頭祈願会

年の初めをお祝いすると共に、その1年間も仏様のご加護をいただき平穩に生活できるようお祈り致します。家内安全、開運厄除、商売繁昌を祈念し切火によってその年の厄を払います。事前にご注文を頂いた方には御札（木札）や荒神札（台所の神様）や御守をご用意しています（お申込み書を同封しております）

午後1時 年頭祈願会  
午後2時 茶話会（豪華景品付き！クイズ大会）



切り火には「生まれたての火 = 穢れがない」という意味から、厄除けやお清めの効果があるといわれ、「良くないことが起こりませんように」「縁起の良いことが起こりますように」「運気が上がりますように」と願いを込めて切り火が行われてきました。

## ◆ 2月1日（第1日曜日）午後2時 節分追難会（豆まき）

豆まき法要です。法要後に年男・年女の方々に檀信徒を代表して豆まきをして頂き、檀信徒・地域の方々から寄進頂いたお菓子やみかんを盛大にまきながら1年の厄除け・除災招福を祈願します。

午後2時 節分追難会  
午後3時 豆まき



### ◆ 男性の厄年（数え年）

#### 【前厄】

平成15年生れ 24歳  
昭和61年生れ 41歳  
昭和42年生れ 60歳

#### 【本厄】

平成14年生れ 25歳  
**昭和60年生れ 42歳（大厄）**  
昭和41年生れ 61歳

#### 【後厄】

平成13年生れ 26歳  
昭和59年生れ 43歳  
昭和40年生れ 62歳

### ◆ 女性の厄年（数え年）

#### 【前厄】

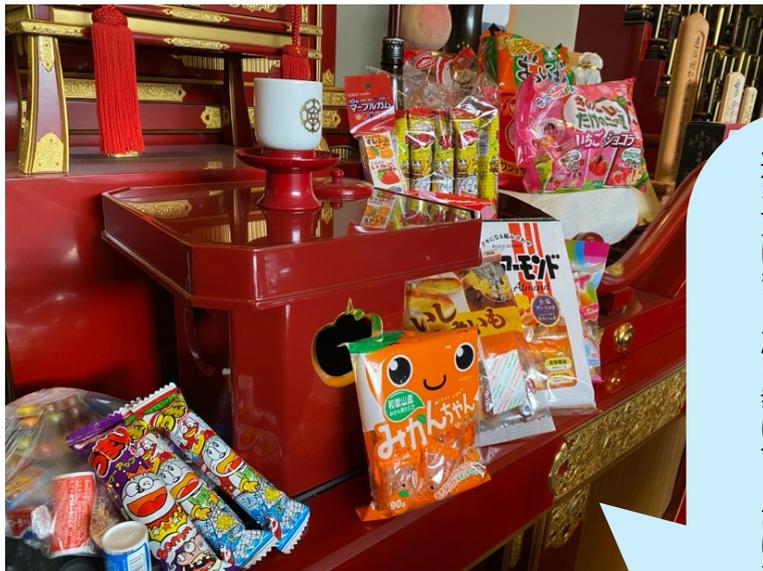
平成21年生れ 18歳  
平成7年生れ 32歳  
平成3年生れ 36歳

#### 【本厄】

平成20年生れ 19歳  
**平成6年生れ 33歳（大厄）**  
平成2年生れ 37歳

#### 【後厄】

平成19年生れ 20歳  
平成5年生れ 34歳  
平成元年生れ 38歳



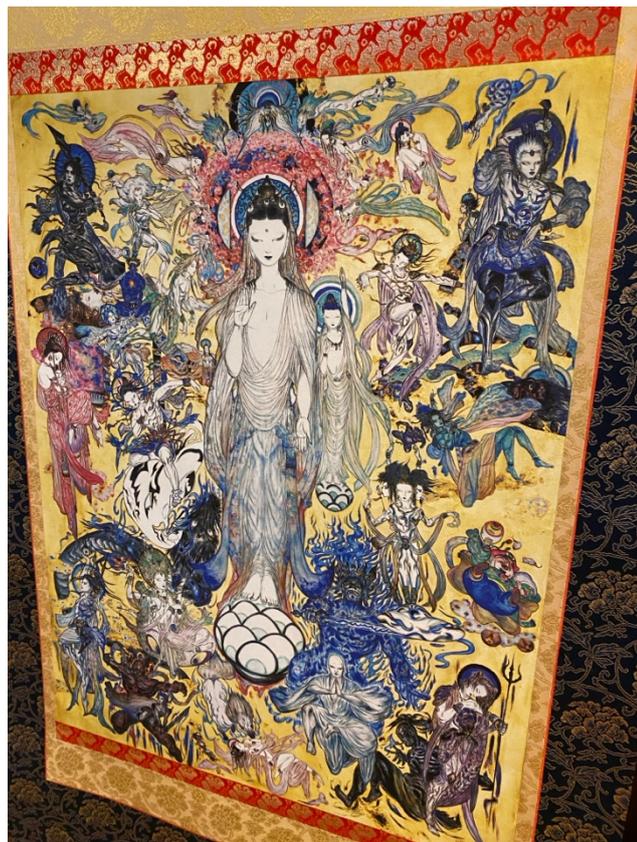
◇ 節分 ◇  
みかん・お菓子等の  
御寄進のお願い

毎年恒例となりました節分法要（豆まき）について、お寺より御寄進のお願いです。  
節分はお寺として地域の方々に貢献させて頂いている行事の一つでございます。  
毎年、総代さんをはじめ、多くの方々のみかん・お菓子等の御寄進を頂き、豆まきの際に豆と一緒に撒かせて頂くことで、檀信徒様・一般の子様方に喜んでいただいております。  
ぜひ本年度も皆さんにみかん・お菓子等の寄進を頂けましたら幸いです。

## ◆ 3月20日（春分の日）午後2時 春季彼岸会（おひがん）

ご先祖の霊を慰め、その成仏を祈る聖徳太子の時代から続く大事な全国的な風習です。  
お彼岸にはご先祖様が彼岸の地にて安らかに  
お過ごしになられるようお塔婆をあげて供養するのが一般的です。

午後12時半頃 写経写仏等  
午後1時20分 法話  
午後2時 春季彼岸会  
併：天野喜孝 画  
「法華経曼荼羅御本尊」  
御開帳



## ◆ 4月12日（第2日曜日）午後2時 釋尊降誕会（花まつり）

お釈迦様のご誕生（4月8日）をお祝いし「子どもの身体健全・所願成就」を祈ります。「誕生仏(釈迦像)」を囲った小さなお堂の「花御堂（はなみどう）」が安置され、参拝者は誕生仏に甘茶をかけてお祝いします。霊妙寺はお釈迦様の誕生の際に喜びの甘露の雨を降らせ、お釈迦様に水とお湯の産湯をかけたと言われる「八大龍王」の「八大山」を山号に拝しています。

午後12時半頃 写経写仏等  
午後1時20分 法話  
午後2時 釋尊降誕会

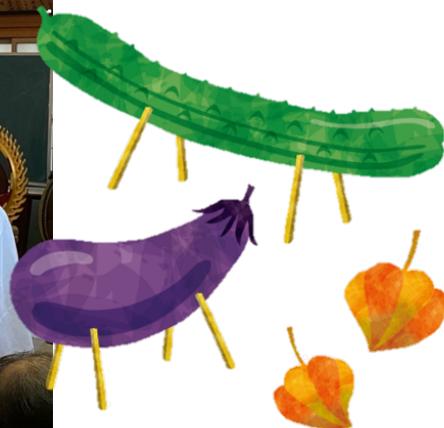


## ◆ 7月5日（第1日曜日）午後2時 孟蘭盆・施餓鬼会（おぼん）

お彼岸は彼の地を想い供養する期間ですが、お盆は年に一回、ご先祖様をこちらの世界へお招きしおもてなしをする期間のことをいいます。ご法要には関東の法華宗寺院のお寺様方が靈妙寺に一同に会し、當山檀信徒ご先祖様のご供養を賜る盛大な儀式となります。

お彼岸同様、お盆のお塔婆をあげてご供養するのが一般的です。また午後3時半からは、初めてのお盆を迎えるご霊位の「新盆供養」も勤修されます。

- 午後12時半頃 写経写仏等
- 午後1時20分 法話
- 午後2時 孟蘭盆・施餓鬼会
- 午後3時半 新盆供養



## ◆ 9月23日（秋分の日）午後2時 秋季彼岸会（おひがん）

春季彼岸会同様、ご先祖の霊を慰め、その成仏を祈る聖徳太子の時代から続く大事な全国的な風習です。お彼岸にはご先祖様が彼岸の地にて安らかに過ごされるようお塔婆をあげて供養するのが一般的です。

- 午後12時半頃 写経写仏等
  - 午後1時20分 法話
  - 午後2時 秋季彼岸会
- 併：天野喜孝 画  
「法華經曼荼羅御本尊」  
御開帳



## ◆ 10月25日（第4日曜日）午後2時 宗祖御会式（おえしき）

法華宗の宗祖日蓮大聖人の祥月命日（10月13日）の為の御遠忌法要です。

遠忌では忌みごとではなく慶事として紅白饅頭や御会式桜を飾り付けてお祝いします。

そしてその余慶を仰いで先祖代々を供養する法要となります。

御施餓鬼（お盆）同様、関東の法華宗寺院のお寺様方が靈妙寺に一同に会し、當山檀信徒ご先祖様のご供養を賜る盛大な儀式となります。

午後12時半頃 写経写仏等

午後1時20分 法話

午後2時 御会式法要



日蓮聖人の御遷化（御逝去）の際に咲いたと言われる寒桜を飾り付け。忌みごとではなく慶事として紅白饅頭が供えられます。日蓮聖人像には寒さを凌ぐための綿帽子がかぶせられます。



お寺さん（各住職様方）が撒く「散華」を拾い、ご仏壇などに奉納して下さい。沢山のご利益に恵まれます。

# 法 話「AI の進化と宗教について

## ～AI で故人様と再会できる時代の信仰とは」

※今年の秋季彼岸会にてお話をさせていただいた  
法話を再構成したものです

今日は少し変わったテーマ、  
「AI の進化と宗教」についてのお話です。

### AI って何



最近、AI という言葉を聞かない日がないですよ。いわゆる「人工知能」と呼ばれるものなのですが、例えば、一昔前ならお掃除ロボットのルンバや車の自動運転。最近だとチャット GPT と呼ばれる会話機能があったりします。身近なところではファミレスでも AI ロボットが料理を運んでくれますよね。イラストや動画、果ては AI が作った映画まで作られて・・・本当に色んなところに AI が入り込んでいます。

Q.「皆さんの中で最近 AI を使ったことがあるっていう方はいらっしゃいますか？」

今、挙げたものの他にも「アレクサ～、今日の天気を教えて！」とか「Siri、お母さんに電話かけて！」とか、普段使いされている方もいらっしゃるかもしれません。こうやって、人の代わりをしてくれるのが「AI (人工知能)」なんですね。今日は AI の話を通して、仏教の大切な教えと一緒に考えていきたいと思います。

### AI 彼氏 AI 彼女 AI と結婚？

さて、今でも AI はどんどん進化していっています。最近では「AI 彼氏」「AI 彼女」なんていうアプリまで登場してしまっていて、なんと「AI と結婚しました！」という人までいるそうです。

Q.「もし AI と結婚できるとしたら、結婚してみたい方はいますか？」

なるほど、AI との結婚はあまり想像しにくいですよ。ただ人間と違って AI はいつも褒めてくれる、AI は裏切らないなんて声もあります (笑) そんな嬉しい部分の反面、もしかすると最新版にアップデートした途端に、昨日まで優しかったのに、急に冷たくなったりするかもしれませんね (笑)

Q.「自分が悩んでいるとき、AI と人間どちらに相談したいでしょうか？」

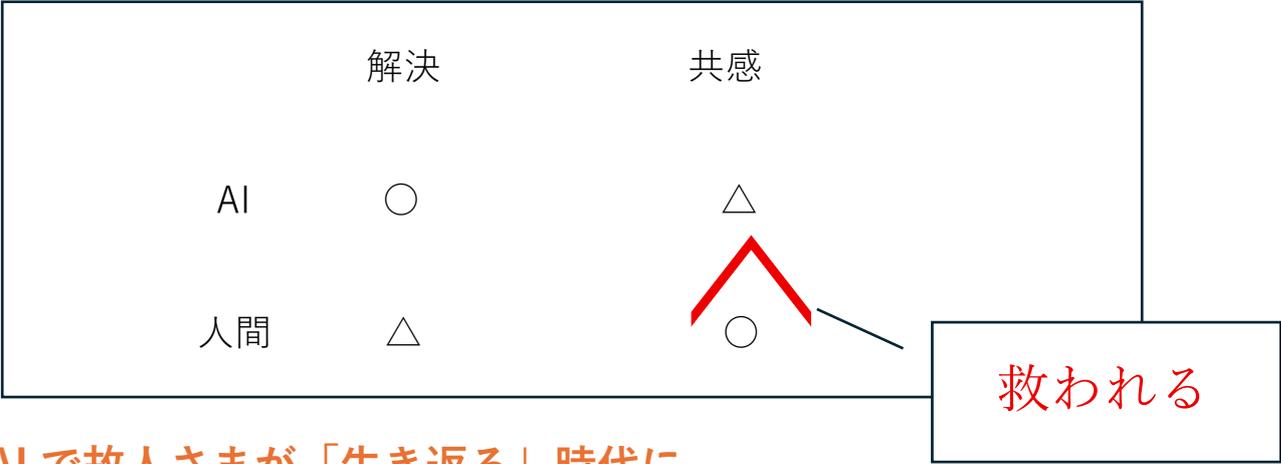
もちろん、悩みの大きさや種類にもよるかもしれませんが、どうでしょうか。ちなみに相談するときに相手に何を求めますか？当然悩みの「解決」を求めるとは思いますが・・・実はただ単純に「共感」してほしいだけという人もいるかと思えます。



映画やドラマでよくこんなシーンを見かけます。男性が女性の悩みを一生懸命解決しようとするけれど、実は女性は悩みを聞いてほしかっただけ。共感してほしかっただけ。男女の考え方の違いが2人の距離を遠ざけてしまうといったシーン。

人間とAIの違いを表すと、AIは膨大なデータによって悩みを「解決」してくれる手助けにはなるかもしれないけれども、同じ悩みを「共感」はしてくれません。いや共感してくれているように振る舞うかもしれないけれど、そこに本当の「心の交流」が存在しているわけではありません。逆に人間の場合は、全てを「解決」はできないかもしれないけど心からの「共感」をしてくれる。人間とAIを比べてみたときに、たとえAIと結婚した人がいても、やっぱり「心のふれあい」においては人間のほうが優れているかもしれません・・・

人間は悩み苦しみ、迷います。でも、それらを「解決」することよりもその苦しみに寄り添い「共感」をしてくれることの方が、救われることもあると思うんですね。



**AIで故人さまが「生き返る」時代に**

さて「解決」よりも「共感」というテーマでお話をする、実は最近こんなサービスが出てきているんです。ビックリしますよ？故人様のお写真や動画、声のデータをAIに学習させると、まるで生きているかのようにそこに現れて、会話したりすることができるんだそうです。

Q.「もし亡くなった大切な方と、AIで『再会』できるなら、再会したいと思いますか？」

これに正しい、正しくないはありません。亡くなった方を懐かしむ気持ちは誰だってあります。もう一度会いたいと思う心は、愛情のあかしだ思うからです。

実は、この難しい問いに対して仏教は答えを用意しています。お釈迦様はこうおっしゃっているんですね。

皆さんもご存知の言葉「諸行無常」。この世のすべてのもの（諸行）は、絶えず変化し続け、永遠に変わらないものはない（無常）という仏教の根本的な教えです。感情、物、人間関係、状況など、すべての現象は生じては滅び、常に移ろいゆくものであり、これを受け入れることが平安につながると教えられています。人はどこかで誰かと「出会う」。しかし、その出会いにもいつかは必ず「別れ」が訪れるのだ、と。そしてその「別れ」を通じて、人は「いのちの尊さ」を学ぶのだと説かれているのです。

AIによって故人さまが「いつまでもそこにいる」・・・と感じてしまうと、

- ① いつまでも心の整理がつきません。
- ② 故人様へいつまでも過剰な執着をしてしまいます。

そして、結果的に

- ③ 「いまを生きる」ということがかえって難しくなってしまうよ。

・・・と教えているんですね



もちろん、テクノロジー自体が悪いわけではありません。ただし、「心の準備ができていないうちに過去を再現する」ということが、悲しみを長引かせてしまったり、心の整理を遅らせる危険もあるということですね。悲しみに暮れるている人にとっての一番の救いというのは、亡くなった人を蘇らせて「解決」することよりも、亡くなった人に寄り添い「共感」することなのではないでしょうか。お釈迦様はこの問いに2500年も前から、しかもこのような時代がくることを見越したかのように教えてくださっているんですね。

## AI と宗教が助け合う未来

先程申し上げたように、必ずしもテクノロジー自体が悪いわけではありません。AIは多くの人達を助けてくれます。でも、AIはあくまでも「道具」のひとつなのではないでしょうか。本来は人間が扱わなければなりません。そんな「道具」「ツール」であるAIですが、「本末逆転」といいますか・・・今後は多くの仕事がAIに奪われると言われていています。そして、実際に奪われ始めています。我々、僧侶もその内のひとつかもしれません。実際にお葬式でロボット僧侶が読経するサービスもあったそうです。しかし、多くの方は「やっぱり人の声で読んでほしい」と思われ、そのサービスは無くなってしまいました。

この「やっぱり」という感覚こそ、「人間の心」なのではないかなと思います。「やっぱり」って大事な感覚ですよ。

- ・高級料理店に行って帰ってきました → やっぱりおうちの納豆ご飯がいちばん！
- ・海外旅行に行って帰ってきました → やっぱりおうちの布団がいちばん！
- ・飲食店でタブレット注文 → やっぱり店員さんに直接注文したい！

人のぬくもりが感じられるものには、やっぱり人は安心できるんですね。お経だって、お坊さんが読むのが一番なんです（笑）ロボットが読んで「ありがたいな〜」とはならないんじゃないかなあと思います。

## 仏さまの教えは普遍的

さて、最後になりますが…。どれだけ議論を重ねても、やはりテクノロジーやAIはこれからも止まることなく進化していくでしょう。その流れを無理に押しとどめることは、おそらく誰にもできません。けれども、一方で「生老病死」や「心の悩み」といった、人間の根源的なテーマは決して変わりません。

そして、この深いテーマに真正面から向き合い、そこに寄り添い、時に涙し、時に笑い合いながら歩んでいける存在は——AIではなく、やっぱり「人間」だけなのだと思うのです。

仏教が2500年という時代を超えて受け継がれてきたのは、科学技術のように便利な道具を提供してきたからではなく、「人の心」という形のない世界を大切に続けてきたからです。

不安や悲しみ、喜びや感謝、愛情や後悔——そうした心の揺れ動きに寄り添い、共に歩いてきたからこそ、仏の教えは今日まで生き続けてきました。

これから先、AIはさらに高性能になり、私たちの暮らしをより効率的で快適なものへと導いてくれるでしょう。しかし、その便利さの一方で、「人が人として大切にすべきものは何か」という問いは、むしろ以前より強く突きつけられる時代になるのかもしれない。

道具としてのAIは、きっと私たちの大きな助けになります。けれども、誰かの痛みを胸を痛めることができるのは人であり、誰かの涙にそっと寄り添えるのも人であり、誰かの幸せを心から願えるのも——やはり人なのです。

ですから、我々僧侶も含めて、AIを「うまく使い」ながらも、その便利さに心を明け渡してしまうのではなく、人間だからこそ育てられる「温かさ」や「思いやり」や「共感」を、これまで以上に大切にしていくことが求められるのだと思います。

AIが進化すればするほど、かえって「人の心」の価値がより浮かび上がってくる。そんな時代を私たちは今まさに生きています。どうか、皆さまお一人おひとりがテクノロジーの力を味方にしながら、そして仏さまの智慧を灯火にしながら、これからの人生をより深く、そしてより豊かに歩んでいかれますよう切に願うものでございます。

本日はありがとうございました。

## 令和8年 年回忌表

- ◆ 1周忌 令和7年
- ◆ 第3回忌 令和6年
- ◆ 第7回忌 令和2年
- ◆ 第13回忌 平成26年
- ◆ 第17回忌 平成22年
- ◆ 第23回忌 平成16年
- ◆ 第27回忌 平成12年
- ◆ 第33回忌 平成6年
- ◆ 第50回忌 昭和52年
- ◆ 第100回忌 昭和2年



令和8年1月～4月に回忌にあられるご  
霊位のお施主様へは別紙にてご案内状とお  
申込み書を同封しております。  
お早めのご連絡お願い申し上げます。

## ～ お塔婆お申込みのご案内 ～

お塔婆は故人様・ご先祖様への供養（敬意と感謝）の気持ちを込めたお手紙です。  
當山では毎月、祥月（御命日にあたる月）にあたる諸霊位を供養する月供養法要を執  
り行しております。祥月にはお塔婆を奉納してご供養をしましょう。

お申込みはホームページ・電話・FAXにて承っております。

ご供養されたい方のご戒名またはご先祖様のお名前をお伝え下さい。

お塔婆 大塔婆（六尺）4,000円／一本（主にお施主様）

中塔婆（五尺）3,000円／一本（主にご近親者様）

小塔婆（四尺）2,000円／一本（主にご親族・ご友人様）

## スマホ「お塔婆お申込み」ページ



## スマホ「ご法事お申込み」ページ



## その他 ご案内



### 葬儀社のないお葬式

「霊妙寺 セルフ家族葬」のパンフレットの

最新版をお送りしております

### 「霊妙寺 セルフ家族葬」の副読本

併せて、朝日新聞にて2025年11月から始まった連載

「令和のお葬式 ～ 増えるお金のトラブル（全7回）」の、連載済み第3回までをお送りします。

「霊妙寺セルフ家族葬」を始めるに至った、葬儀社、火葬場等の実情を描く内容です。ご一読ください。

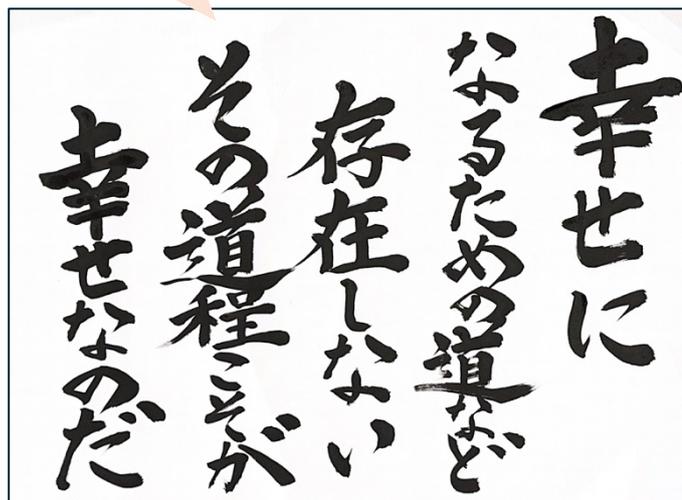
- ・第1回「『一日葬』請求額220万円 28万円のはずが・・・遺族『許せない』」
- ・第2回「口コミで看板変える葬儀社 霊安室の争奪戦 新旧で過当競争の業界」
- ・第3回「お布施の75%が葬儀社の手数料に 『ぼったくりで割高』 憤る僧侶」



全8回  
令和のお葬式～増えるお金のトラブル  
お葬式の「お金」をめぐる、広告よりはるかに高い料金を請求されるなどのトラブルが多発し、  
りした葬儀業界の実態に迫り、後悔せず大切な人を見送るためにできることを考えます。  
1-3件 / 3件中

### 今月のお寺の掲示板

### LINEの公式アカウント できました



霊妙寺 LINE公式アカウント

# 友だち 募集中

@785iklrw

LINEで気軽に

ご依頼・お問い合わせ  
できるようになりました！





パソコンもスマホも「霊妙寺」で検索！



←スマホ版はQRコードからもアクセスできます！

気になることがありましたら霊妙寺のホームページをご覧ください。  
・ご法事、お葬儀のご相談 ・お塔婆のご依頼 ・合格祈願、安産祈願、交通祈願  
・墓地や永代供養について ・御首題（御朱印）、御守など ・各種ご相談  
また、各種ご相談ごとお聞き致します。お気軽にお電話ください。

- ・ 日行会費（護持会費）を納めて頂いていない方は、御協力の程宜しくお願い致します。  
（1,000円／一か月 ・ 12,000円／年間）  
日行会費（護持会費）とは、皆様方のご協力のもと、年間の法要に際しお花やお供物、お茶菓子などに使わせて頂いております。また併せて、お寺の維持・布教活動の一部とさせて頂いております。
- ・ 納骨堂管理料（12,000円／年間）・墓地管理料（12,000円／年間）を納めて頂いていない方々は、ご協力の程宜しくお願い致します。
- ・ ご参詣できない方は、ご先祖様の御供養、お寺の護持発展のために「お布施（ご供養料）」をお送り頂きたくお願い申し上げます。  
☆ご送付は現金書留、または下記金融機関での銀行振込にて宜しくお願い致します。

【金融機関名】	三菱UFJ銀行
【支店名】	329（新宿新都心支店）
【預金種目】	普通預金
【口座番号】	5701960

【金融機関名】	ゆうちょ銀行
【支店名】	008
【預金種目】	普通預金
【口座番号】	8281372

TEL & FAX・(03・3372・8618)

法華宗 八大山 霊妙寺  
住職 河野 隆光